

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)橋本駅前BH新築工事	階数	地上10F
建設地	相模原市緑区橋本三丁目128-3,128-7	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	125 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年6月20日
敷地面積	589 m ²	作成者	株式会社エスピーエス一級建築士事務所
建築面積	291 m ²	確認日	
延床面積	2,432 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>本物件は横浜線橋本駅から程近くに立地している。</p> <p>限られた敷地の中に豊富な緑地を植栽し生物資源の保護に配慮し、雨水抑制の対象地域ではないが浸透設備を設けて雨水抑制に配慮している。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し空気質環境に配慮する</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>・耐用年数の長い配管材料を採用し建物の耐久性に配慮する</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>・限られた敷地の中にできるだけ多くの樹木を植栽し温熱環境や生物環境の保全に配慮する</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>・BPI_m=0.87、BEI_m=0.85、LED照明設備・潜熱回収型給湯器及び空冷ヒートポンプ式エアコンを採用し省エネルギーに配慮する</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>・外壁や客室の床にリサイクル材を採用し、非再生資材の使用削減に配慮する</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>・屋外照明の対策を行い、光害の抑制に配慮する</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される